

ぴたらファーム 通信

●畑の状況

まだまだ存在感たっぷりの入道雲の上方には秋らしいうろこ雲がいくつもつらなり、夕暮れ時の空をより一層ドラマティックにします。強めの西日は稲穂をゆらす金風によって飛び交うトンボに反射して、まるで金の粉をちらばしたかのようにキラキラと輝きます。目映いこのドラマティックな風景は一見の価値ありですよ。

9月に入ってから秋の種まきをひたすらがんばっているっていうのに、一向に雨が降りません（涙）甲斐駒ヶ岳の山頂には雨を降らせてくれそうな雨雲が行ったり来たりしているというのに、私達農家の熱い想いはことごとく打ち破られている為、地道にポンプとじょうろを使って水遣りを朝晩しています。水遣りをしていて、気づくのは一枚の畑でも真平らな畑はなかなかなく、多少の傾斜やうねりを持ち、場所によっては水脈があり水はけの違いがあり、さらにそれが成長のスピードに大きく影響していることです。畑一枚にして、これだけ奥深いとはっ！農業は本当に奥の深い生業です。

さて、今週の野菜セットにかぼちゃを入れたかったのですが、ぴたらのかぼちゃはことごとく、イノシシとサルに食べられた為（これまた涙）、ご近所の有機農家バイオファーム美土里さんからバターナッツを仕入れました。生産者みどりさんによると、バターナッツはポタージュのようなスープがオススメですが、皮を剥いて焼いて食べてもかぼちゃ同様においしいそうです。バターナッツは、皮が固いため、他のかぼちゃが猿に食べられてもバターナッツだけは食べられないというすごいお野菜。形もかわいらしいですね。貯蔵がきくのでしばらく飾って楽しんでから食べてもより熟しておいしいですよ。 by 彩華（畑・こかぶ犬担当）



●ぴたらぶ田んぼ

甲府の真夏日が史上最長の53日連続になったそうです。そしてまだまだ続きそうな予感。稲の実りは積算温度で決まってくる為に、今年はかなり収穫が早まっているようです。隣町ではどんどん収穫が始まっています。ぴたらの稲もそろそろ収穫を迎えます。稲の収穫は日本人であることの根源を呼び起こすのか何か特別な思いがあります。是非感じてみてほしいと思います。by 泰斗（畑担当）

●ファームの様子

ぴたらファームでは9/8(土)~9/9(日)にコンポストトイレづくりのイベントを行ないました。

今回は前回に引き続き、壁の下地として竹の骨組みを作る竹小舞編みの作業を行ないました。そして、夜は建設途中のコンポストトイレにキャンドルを灯し、ゲストの方と共にお酒を飲んで楽しく語り合いました。川の水が流れる音や虫の音に耳を澄まし、竹の網目模様から漏れるキャンドルの明かりを眺めての宴会はとても風流で、時の流れを忘れて思わず夜更かしをしてしまいました(^_^;; 何だか学生時代に戻ったような、そんな若かりし頃を思い出しました。

次回はいよいよコンポストトイレづくりイベントの最終回！！出来上がった竹の骨組みに土を塗り、壁づくりを行ないます。普段では中々体験する事が出来ない土壁塗り。是非ご家族や友人をお誘い合わせの上ぴたらファームへ遊びにいらして下さいね。 by 真吾（畑・イベント担当）





<コラム:東京発スローライフ⑩> 海の豊かさは森によってもたらされている

このコラムは東京でファームの運営を担当している大樹が書いています。

養老孟司さんの「日本のリアル」(PHP 新書)を読みました。養老さんと、農業、漁業、林業に従事する4人の方との対談をまとめた本です。どの方も、その業界の固定観念にとらわれることなく、実験を繰り返しながら新しい手法を生み出されていました。

漁業については、気仙沼で牡蠣の養殖をされている畠山さんと対談していますが、この方、海の豊かさを取り戻すために一見、海と関わりがないように見える、植林活動など流域の森林保全に力を入れていらっしゃいます。その科学的根拠として、海の高藻や植物プランクトンは、陸上の木や草と同じように、窒素、リン、ケイ素、さらには微量のミネラルを必要としているのですが、植物が窒素を取り込むには先に鉄分を取り込む必要があり、鉄分を流域の森の土や岩石から流れ出したものに頼っているそうです。特に、落ち葉などが自然分解するとき、鉄分は植物や吸収しやすい形に変わるそうです。

そのため、流域にダムなどを作って、上流の森と海を遮断してしまうことは、森から海への鉄分などの供給を妨げてしまい、結果的に海の豊かさが失われてしまうそうです。実際に気仙沼では、流域の森林保全を進めたおかげで海の豊かさが戻ってきたそうです。

森と海という遠い関係にも深い繋がりがあるということは驚きですが、動植物などについて考えるときも、ひとつの対象としてだけ見るのではなく、周囲の環境も含めて、包括的に考えないと見誤まることを意味しています。

日本の農村景観は、水田、畑、森というものが、うまく連続的な関係性をもっていることで持続可能な農村だったのです。ぴたらファームの周囲も、水田や畑、森、沢といった農村景観が続いています。そうしたものが相互にどのような意味をもっているのかを学び、共有できたらいいなと思っています。(運営担当:大樹)



<<ファームからのお知らせ>>

●野菜セット次回のお届けについて 隔週の方⇒9月27日(土)、毎月(第2週)の方⇒10月20日(土)

●野菜セットの代金お支払い方法について

- ・定期(毎週 or 隔週 or 毎月)⇒月末にE-mailでご請求いたします。
- ・お試し1回注文 ⇒野菜セットのボックスに請求書を同封します。

●ファームのお米とお味噌が送られてくる! ぴたらぶ会員(会費1万円/年)募集中!

●ファームのスケジュール 9/22-23 コンポストトイレ作り・土壁塗りイベント

●野菜の品質について

ぴたらファームでは、収穫・送付時にチェックを行って野菜を万全の状態でお届けしています。しかし、無農薬栽培のため、虫の混入や運送時の温度条件等により野菜に傷み等が出てくる可能性もあります。もし、そうした野菜がございましたら、どうぞ、遠慮なくご連絡ください。次回の送付時に代替りの野菜をお送りします。

また、野菜セット全体にご不満のある場合には、代金はいただきませんのでご連絡ください。

ぴたらファーム 

～自然循環型のオーガニック・ファーム～

〒408-0313 山梨県北杜市白州町横手 1118



たさいたいと あおきさいか くりやしんご なかの かもりまさみ たさいたいじゅ たさいさとこ
田才泰斗、青木彩華、栗谷真吾、中野ちはる、川森昌美(畑担当) 田才大樹、田才暁子(運営担当)

携帯: 090-2055-3424、TEL/FAX:0551-35-2793 pitarafarm@gmail.com <http://pitarafarm.com>